

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公表番号】特表 2014-529569 (P2014-529569A)  
 【公表日】平成 26 年 11 月 13 日 (2014.11.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-062  
 【出願番号】特願 2014-527187 (P2014-527187)  
 【国際特許分類】

C 0 3 B 37/027 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 B 37/027 A

G 0 2 B 6/00 3 5 6 A

G 0 2 B 6/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 29 日 (2015.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱炉内の加熱ガラス源から光ファイバーを線引きする工程、及び異なる方位位置に配置された複数の振動源によって、前記光ファイバーに屈折率振動を与える工程であって、前記屈折率振動が、周波数の異なる前記複数の振動源によって、前記光ファイバーに応力を発生させることにより与えられる工程、を有してなることを特徴とする光ファイバーの製造方法。

【請求項 2】

前記屈折率振動が、前記光ファイバーの軸長に沿った異なる位置に与えられることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記屈折率振動を与える工程が、複数のガス源を用いて前記線引きされたファイバーの外表面にガスを吹き付ける工程を含んで成ることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記屈折率振動を与える工程が、複数のレーザー出力を用いて前記線引きされたファイバーを加熱する工程を含んで成ることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 5】

加熱炉内の加熱ガラス源から光ファイバーを線引きする工程、及び複数の異なる方位位置に配置された複数の振動源によって、前記光ファイバーに屈折率振動を与える工程であって、前記屈折率振動が、前記複数の振動源によって前記ファイバーに応力を発生させることにより、該ファイバーの軸長に沿った異なる位置の外表面に略螺旋状に同期して与えられる工程、を有してなることを特徴とする光ファイバーの製造方法。

【請求項 6】

前記屈折率振動を与える工程が、複数のガス源を用いて前記線引きされたファイバーの

外表面にガスを吹き付ける工程を含んで成ることを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記ガスを吹き付ける工程が、対応するチョッパーと共に配置された前記複数のガス源を用いてガスを吹き付ける工程を含んで成り、前記チョッパーが前記光ファイバーに吹き付けられる前記ガス源からの空気出力を制御するものであることを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

前記屈折率摂動を与える工程が、複数のレーザー出力によって前記線引きされたファイバーの表面を加熱する工程を含んで成ることを特徴とする請求項 5 記載の方法。